



# 分枝だより

## 卒業式特別号

君と寄り添って、幾つも乗り越えた  
悲しみの夜を、僕は忘れない  
いつもそばにいて  
支え合えた日々と、温かな君の笑顔に  
ありがとう

●三月三日(水)、授賞式と卒業証書授与式が行われました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業式は保護者だけの参加となりました。在校生が参加できないのは残念でしたが、できるだけこれまでどおり卒業生を送り出したいと、生徒・職員が心を込めて準備をしました。式典後、卒業生が笑顔で校舎をあとにする姿を見て、「無事に卒業式を実施できて良かった」という安堵の思いでした。

**思い出を胸に、新たな世界へ!**



### 新たな旅立ち 第44期卒業生



最後のHR



3年間ありがとう



地域と共に歩む  
大曲農業高等学校太田分校  
(TEL) 0187 (88) 1311  
(FAX) 0187 (86) 9035

### 【送辞】

肌を震わす冷たい風もいつしか和らぎ、穏やかな春が近づいて参りました。卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

今、皆様は、高校生活をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。この地域と関わり合いの深い太田分校で、多くの人の出会いの中で貴重な体験をし、十人十色の思い出を築き上げてこられたと思います。数々の行事、部活動で、常に私たちの前を歩き、お手本となってくださった皆様は、私たちに大切なものを残してくださいました。

今年、新型コロナウイルスの影響で太田分校の多くの行事にも影響が出てしまいました。規模の縮小、感染防止対策を施した行事の数々、昨年と違うやり方で動揺もあったと思います。しかし、私たちがそんな事でも見せずに、生徒会を始め、皆様一人一人がリーダーシップを発揮し、運動会やHR対抗、グラウンド・ゴルフ大会や全校民謡発表会など、各行事を活気ある活動にしてくださいました。その中で、一番思い出に残っているのは紅葉祭です。企画を考へるところから昨年までの違いを感じました。昨年までの開催スタイルが変更され、前日祭と紅葉祭を同じ日に数時間のみの行事になりました。短い時間ながらも生徒、保護者が目一杯楽しむことができるよう企画された、「仮装しての紅葉祭の実施」は、私たちにとても大きな思い出として胸に刻まれ、生徒、保護者全員が楽しんでいらっしやいました。様々な活動を通して私たちが、楽しく充実した日々を送ることができました。皆様はいつも先のことを考え、私たちが気付かない所にも気を配り、行動していらっしやいました。そんな皆様から、団結力・創造力・実行力・企画力の四つを学ばせていただきました。



皆様の存在や今まで築いてこられたことはあまりに大きき、私たちでは皆様のラインに立つことは、もつと先のことになるでしょう。しかし、皆様に憧れていた私達もいつかは憧れの対象として、頼りにされる上級生になれるようにこれからの日々を過ごしていきたいと思えます。今まで皆様に教わったことを胸に止め精進してまいります。

二月から三年教室が空き教室になって寂しさを感ずるようになりました。新年度になっても、この寂しさは変わらないかもしれません。皆様はこれから進む道が違っても、この分校でもに学び、笑い、困難も一緒に乗り越えてきた絆や思い出は、かけがえのないものとなっていることと思います。私たちが在校生も皆様が築き上げてきた伝統を守り、受け継いでいけるように精進して参ります。卒業される皆様、私たちは皆様の後輩としてこの学び舎でも生活してきたことを心から誇りに思います。

最後になりますが、皆様のご健康と益々のご活躍をお祈りし送辞といたします。

令和三年三月三日  
在校生代表 細川柚衣

### 【答辞】

春といえどもまだ浅く、寒さの名残が続きます。私たちが三年生十二名は、本日無事に、卒業式を迎えることができました。本日は、保護者の皆様に御出席いただき、このような卒業式を挙げてくださり、心より御礼申し上げます。

太田分校で過ごした三年間は、あっという間に過ぎ去っていきました。運動会や一年生ながら総合一位をとりました。特にクラスパフォーマンスでは、クラス全員で役割分担をし、それぞれが知恵を出し合い、見ている人も笑顔になれるようなダンスを考へ、より良い形にしようという日々取り組みました。こうしたパフォーマンスを三年間発表しました。その結果、クラスパフォーマンス部門では、三連覇を達成することができました。

私たちが日々の学校生活に全力で取り組み、全校田植競技会やグラウンド・ゴルフ大会など、分校の特色ある学校行事でたくさん思い出をクラスの仲間と共に作ってきました。中でも一番の思い出は、二年次の「修学旅行」です。三泊四日で、広島・奈良・京都・大阪の二府二県を訪れました。遠く離れた広島島の地で秋田県人会の方々と出会い、郷土芸能の発表や農産物販売を行って様々な人と交流を深め、秋田の良さを広めることができました。宿舎での夜は、友達とこの日の出来事を振り返りつつ、明日起こるかもしれない出会いに胸を躍らせながら話し合っていたことが今でも思い出されます。そうして楽しかった三泊四日の旅行は、あっという間に過ぎてしまいました。今でも鮮明に思い出せるほど楽しい、修学旅行でした。

二年生の三学期、突然の休校。この先どうなるかと不安がつり、やっと迎えた四月。それもつかの間、四月下旬に全国で発令された緊急事態宣言に伴う休校と、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で様々な行事が中止や変更になりました。そして、これからは私たちの学校生活に大きな影響を与えました。特に影響を受けたのは、進路活動です。事前の企業見学がなかなかできず、悩んでいる人もいました。また、いつもの面接練習に加えて、リモート面接対策をするなど慣れない進路活動が続きました。それでも、私たちは自分に必要な勉強をしたり、資料を集めたりと努力しました。その結果、新年を迎える前にクラス全員が未来へのキップを手に入れました。

十月、最後の紅葉祭は、いつもと違う形で行われました。限られた時間の中でたくさんの方を盛り上げた一日を過ごすことができました。たくさんの方々の保護者の方々のご参観もあり、例年よりも盛り上がった紅葉祭になった気がしています。来年度の紅葉祭も、内容が充実することを期待しています。そして、卒業を迎えた私たちに、今までは一緒に学校生活や部活動などで様々なことに取り組んできた仲間と別れる日はとても辛いことです。私たちがみんなの生活の中で、悔いの残らぬように思い出を積み重ねながら日々を過ごしてきましたが、もつとたくさんの方々の手柄を体験しながら、充実させたかったです。仲間との何気ない時間ももつと欲しかったのです。四月からは、それが新しい扉を開き、未来へと向かっていきます。先の見えない将来に不安を感じながらも自分を信じて、前向きに進もうと思っています。そんなとき、ここ太田分校で学んだことが生きていく上で力になることを確信しています。

私たちは、「強い心を持ち、立派に成長したい」という気持ちを胸に前へ進んでいきます。そして、大人になったクラスメイトと再会し、高校生活の思い出を語り合える日が来ることを願っています。在校生の皆さん、四月からは皆様が上級生となります。先輩として新入生をリードし、今以上に笑顔あふれる太田分校にしてください。これから学校行事の企画運営、進路選択など、悩み事も増えていくと思えますが、この学校には親身になって相談に乗ってくれる仲間や先生方がいます。私たち卒業生は、この太田分校をあなた方に託して次のステージに旅立ちます。更に素晴らしい学校に築き上げていくってください。

先生方、今までありがとうございました。日々優しく、時には厳しく指導してくださいました先生方から感謝しております。十二名という一番少ないクラスですが、一人一人の個性が強すぎるあまり、何度も先生方にご迷惑をおかけしました。授業や学校行事、部活動など多くの場面で教えていただいたことが沢山ありました。三年間お世話になりました。

私たちのことを一番そばで見守ってくれていた家族へ。今日をもって、無事高校を卒業することができました。伝えたいことが沢山ありすぎて言葉がまとまりません。毎日の送迎、お弁当作りなどのサポートのおかげで、笑顔で学校生活を終えることができました。これからも社会人として、一歩ずつ自立していく私たちを見守ってください。

私たちが十二名は、この太田分校で学んだことを心に深く焼き付けて、大きく社会に羽ばたいていきます。

最後になりましたが、学校生活を支えてくださったすべての方に改めて感謝申し上げます。太田分校の、ますますのご発展を願い、答辞といたします。

令和三年三月三日  
卒業生代表 鈴木 夕奈

春といえどもまだ浅く、寒さの名残が続きます。私たちが三年生十二名は、本日無事に、卒業式を迎えることができました。本日は、保護者の皆様に御出席いただき、このような卒業式を挙げてくださり、心より御礼申し上げます。

太田分校で過ごした三年間は、あっという間に過ぎ去っていきました。運動会や一年生ながら総合一位をとりました。特にクラスパフォーマンスでは、クラス全員で役割分担をし、それぞれが知恵を出し合い、見ている人も笑顔になれるようなダンスを考へ、より良い形にしようという日々取り組みました。こうしたパフォーマンスを三年間発表しました。その結果、クラスパフォーマンス部門では、三連覇を達成することができました。

私たちが日々の学校生活に全力で取り組み、全校田植競技会やグラウンド・ゴルフ大会など、分校の特色ある学校行事でたくさん思い出をクラスの仲間と共に作ってきました。中でも一番の思い出は、二年次の「修学旅行」です。三泊四日で、広島・奈良・京都・大阪の二府二県を訪れました。遠く離れた広島島の地で秋田県人会の方々と出会い、郷土芸能の発表や農産物販売を行って様々な人と交流を深め、秋田の良さを広めることができました。宿舎での夜は、友達とこの日の出来事を振り返りつつ、明日起こるかもしれない出会いに胸を躍らせながら話し合っていたことが今でも思い出されます。そうして楽しかった三泊四日の旅行は、あっという間に過ぎてしまいました。今でも鮮明に思い出せるほど楽しい、修学旅行でした。

二年生の三学期、突然の休校。この先どうなるかと不安がつり、やっと迎えた四月。それもつかの間、四月下旬に全国で発令された緊急事態宣言に伴う休校と、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で様々な行事が中止や変更になりました。そして、これからは私たちの学校生活に大きな影響を与えました。特に影響を受けたのは、進路活動です。事前の企業見学がなかなかできず、悩んでいる人もいました。また、いつもの面接練習に加えて、リモート面接対策をするなど慣れない進路活動が続きました。それでも、私たちは自分に必要な勉強をしたり、資料を集めたりと努力しました。その結果、新年を迎える前にクラス全員が未来へのキップを手に入れました。

十月、最後の紅葉祭は、いつもと違う形で行われました。限られた時間の中でたくさんの方を盛り上げた一日を過ごすことができました。たくさんの方々の保護者の方々のご参観もあり、例年よりも盛り上がった紅葉祭になった気がしています。来年度の紅葉祭も、内容が充実することを期待しています。そして、卒業を迎えた私たちに、今までは一緒に学校生活や部活動などで様々なことに取り組んできた仲間と別れる日はとても辛いことです。私たちがみんなの生活の中で、悔いの残らぬように思い出を積み重ねながら日々を過ごしてきましたが、もつとたくさんの方々の手柄を体験しながら、充実させたかったです。仲間との何気ない時間ももつと欲しかったのです。四月からは、それが新しい扉を開き、未来へと向かっていきます。先の見えない将来に不安を感じながらも自分を信じて、前向きに進もうと思っています。そんなとき、ここ太田分校で学んだことが生きていく上で力になることを確信しています。

私たちは、「強い心を持ち、立派に成長したい」という気持ちを胸に前へ進んでいきます。そして、大人になったクラスメイトと再会し、高校生活の思い出を語り合える日が来ることを願っています。在校生の皆さん、四月からは皆様が上級生となります。先輩として新入生をリードし、今以上に笑顔あふれる太田分校にしてください。これから学校行事の企画運営、進路選択など、悩み事も増えていくと思えますが、この学校には親身になって相談に乗ってくれる仲間や先生方がいます。私たち卒業生は、この太田分校をあなた方に託して次のステージに旅立ちます。更に素晴らしい学校に築き上げていくってください。

先生方、今までありがとうございました。日々優しく、時には厳しく指導してくださいました先生方から感謝しております。十二名という一番少ないクラスですが、一人一人の個性が強すぎるあまり、何度も先生方にご迷惑をおかけしました。授業や学校行事、部活動など多くの場面で教えていただいたことが沢山ありました。三年間お世話になりました。

私たちのことを一番そばで見守ってくれていた家族へ。今日をもって、無事高校を卒業することができました。伝えたいことが沢山ありすぎて言葉がまとまりません。毎日の送迎、お弁当作りなどのサポートのおかげで、笑顔で学校生活を終えることができました。これからも社会人として、一歩ずつ自立していく私たちを見守ってください。

私たちが十二名は、この太田分校で学んだことを心に深く焼き付けて、大きく社会に羽ばたいていきます。

最後になりましたが、学校生活を支えてくださったすべての方に改めて感謝申し上げます。太田分校の、ますますのご発展を願い、答辞といたします。

令和三年三月三日  
卒業生代表 鈴木 夕奈





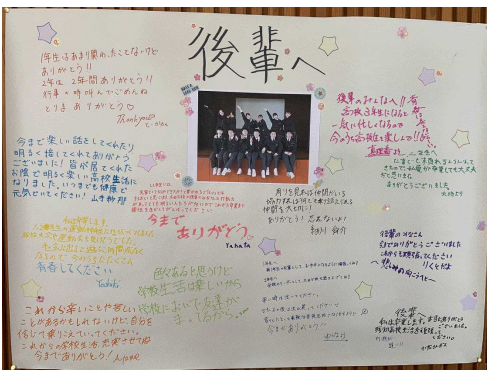
三月三日・空も心も晴天なり

ご卒業おめでとうございます

卒業生から後輩に向けてのメッセージ



開式を待つばかりの式場



ありがとうを伝えたくて



2年生



1年生

式に出席できない1・2年生が、卒業生へ感謝のメッセージ。卒業生からも激励のメッセージ。



教頭先生の式辞



開式の言葉



諸賞の読み上げ

諸賞の代表者に教頭先生から賞状が手渡されました

授賞式

校長式辞・送辞・答辞



先輩とお別れ



普原校長先生の式辞



見守る保護者の方々



担任による氏名点呼



開式の言葉



学年主任、担任、卒業生の順に入場



答辞を校長先生に



涙をこらえながらの答辞



もうお別れなんだ...



校長先生から一人ひとりに卒業証書が渡されました



みんなで歌う最後の校歌・分校歌



最後は先生方の前で卒業生が歌のサプライズ(反則ですね)



卒業生から先生方へ



当たり前だった日々も今日で最後

最後のHR



先生方から花束を手渡され別れを惜しむ



退場と共に訪れる別れに...



さあ、お別れです...

卒業生退場